

自立した人間に成長していけるように

人間科学部長 嶋根 克己

保護者のみなさま、新入生を専修大学へお迎えできることを、心からお喜びいたします。これまで約 12 年間基礎を学び、大学生活は学校教育制度での総仕上げとなり、多くの学生は大学での学業を終えると社会に出ていきます。これは保護者の庇護から自立し、自分の力で生きていかねばならないことを意味しています。どんな哺乳動物にも親からの独立の時期はあり、いつかは厳しい自然に立ち向かっていかねばなりません。同じように人間も長い保護と教育の期間が終わると、自立した人間として社会に出ていかねばなりません。専修大学は専門教育とキャリア形成に向けての整った制度を有しております。しかしさらに大事なことは学生本人が自立した大人へと脱皮していこうとする強い意志と、それを支える周囲の環境だと思います。学生たちはこれからさまざまな人間関係における葛藤を経験することになります。どうぞ、暖かく、厳しく見守っていただけますよう、お願い申し上げます。